

1. 学年・教科・単元名      2年 国語科 「あったらいいな こんなもの」
2. 実践者（所属）      浜崎 俊治（野川小学校）
3. 使用する機器・メディアなど

入 力		ソフト, コンテンツ	出 力	
<input type="checkbox"/>	教材提示装置	Web サイト ( )	<input type="checkbox"/>	50 インチ大型テレビ
	コンピュータ			電子黒板
	デジタルカメラ	PC ソフト ( )		プロジェクタ
	SD カード			プリンタ
	デジタルビデオカメラ	DVD ソフト, 放送番組 ( )		
	DVD プレイヤー			
	その他 ( )			

4. ICT 活用のねらい（資料「教育の情報化に関する手引」文部科学省 2009 年）

教師が活用する場面		児童が活用する場面	
<input type="checkbox"/>	興味・関心を高めるため		情報を収集・選択するため
	課題を明確につかませるため		文章, 表や図にまとめるため
	わかりやすく説明したり, 児童の思考や理解を深めたりするため	<input type="checkbox"/>	わかりやすく発表したり表現したりするため
	知識の定着を図るため		知識の定着や技能の習熟を図るため

5. 学習活動の流れ

学習活動（45分）	ICT 活用の留意点等
1. あったらいいなと思う物の絵を教材提示装置で映す。 2. 原稿をもとに発表する。 3. 質問や感想交流をする。 4. 良かったところを, 感想メモに書く。 5. 1～4のくり返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画用紙は横向きで統一し, 子どもがスムーズに提示できるようにする。</li> <li>・大きく描くこと, 色ははっきりと塗ることなどを, 作成の段階で伝えておく。</li> </ul>

6. 実践のポイント

- ・考えた物の名前をかくしたり, できることについて絵を指しながら説明したりして, 工夫している子どもがいたら, 全体に紹介したい。
- ・クラス全員がやるので飽きてしまいがちな活動だが, 大きく映すことで興味・関心が持続すると思われる。